



5 会議に付した案件

件名	審査の結果
1 令和5年度中間報告について 2 その他	原案のとおり決定

## 6 議事録（要点筆記）

### ○猫田孝委員長

ただいまから、県土強靱化・インフラ整備対策特別委員会を開会する。

本日の委員会は、当委員会の「令和5年度中間報告」について、協議いただくため開催したものである。

文案については、あらかじめ準備し、お手元に配布したとおりであり、書記に朗読させる。

（書記朗読）

### ○猫田孝委員長

ただいまの中間報告案に対し、意見はあるか。

（意見なし）

### ○猫田孝委員長

意見もないようなので、案のとおり中間報告を決定したいと思うが異議はあるか。

（「異議なし」の声あり）

### ○猫田孝委員長

異議もないようなので、そのように決定する。

次に、その他として、「令和6年能登半島地震への支援と今後の震災対策の見直しについて」、執行部からの報告を受ける。

（執行部説明 海蔵危機管理部次長兼岐阜地域危機管理監）

### ○猫田孝委員長

ただいまの報告に対し意見はあるか。

### ○藤本恵司委員

地震時の電柱倒壊への対策として、緊急輸送道路などの無電柱化の促進をお願いしたい。

### ○所道路維持課長

無電柱化についてはこれまでも事業を実施しており、今後も引き続き推進していく。また、電柱倒壊時に迅速な対応ができるよう、関係機関と連携して毎年道路啓開訓練を実施している。

### ○猫田孝委員長

無電柱化の事業費について、過去に100mあたり1億円程度かかると聞いたことがあるが、現在ではどの程度か。

### ○所道路維持課長

100mあたり約5千万円程度である。

### ○森治久委員

木造住宅の耐震化について、県や市町村の補助金が増えれば進むと思われる。補助金の拡充についてどう考えるか。

### ○堀建築指導課長

耐震化について、岐阜県は全国的にも手厚い補助を実施している。今後も戸別訪問を通じて、所有者の事情に寄り添った提案に努める。

### ○森治久委員

空き家の除却等に対する補助制度について、県内の市町村のうち2町は除却、利活用に対する補助制度が無い。また、10市町は、補助制度はあるが、除却か利活用のいずれか一方しか補助対象となっていない。42市町村全てが除却と利活用に対する補助制度を設けるよう、引き続き指導してほしい。

○森正弘委員

能登半島地震においては、約1万1千人の人的支援を行っているが、物資の支援としては、どのような物を提供したのか。

○横山防災課長

石川県や対口支援先である中能登町からの要請に基づき、発災当初には水、食料を提供したほか、市町村の協力を得て段ボールベッドなども支援した。また、中能登町には、県土整備部の協力を得て大型土のう袋なども提供した。物資のニーズは時間の経過とともに変わってくるため、要請があった都度対応している。

○黒田芳弘委員

本巣市内の幹線道路で区画線が薄くなっているところがあるが、区画線の修繕はどのように対応されているのか。

○所道路維持課長

現地状況を確認のうえ、緊急性の高い箇所から順次対応している。

○猫田孝委員長

意見も尽きたようなので、本日の議題を終了する。これをもって、本日の委員会を閉会する。

県土強靱化・インフラ整備対策特別委員会 配席図

令和6年3月12日

第6委員会室

